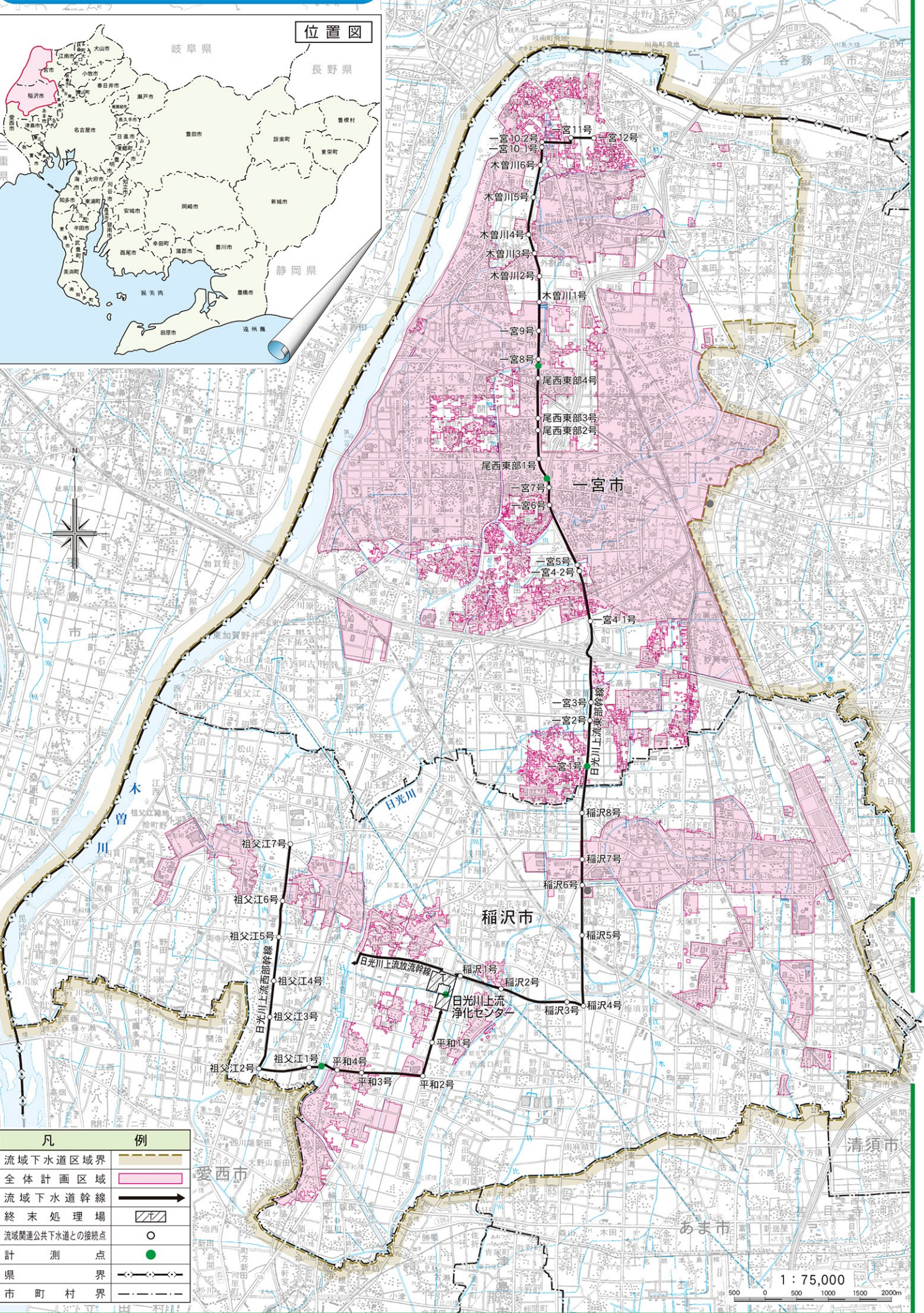
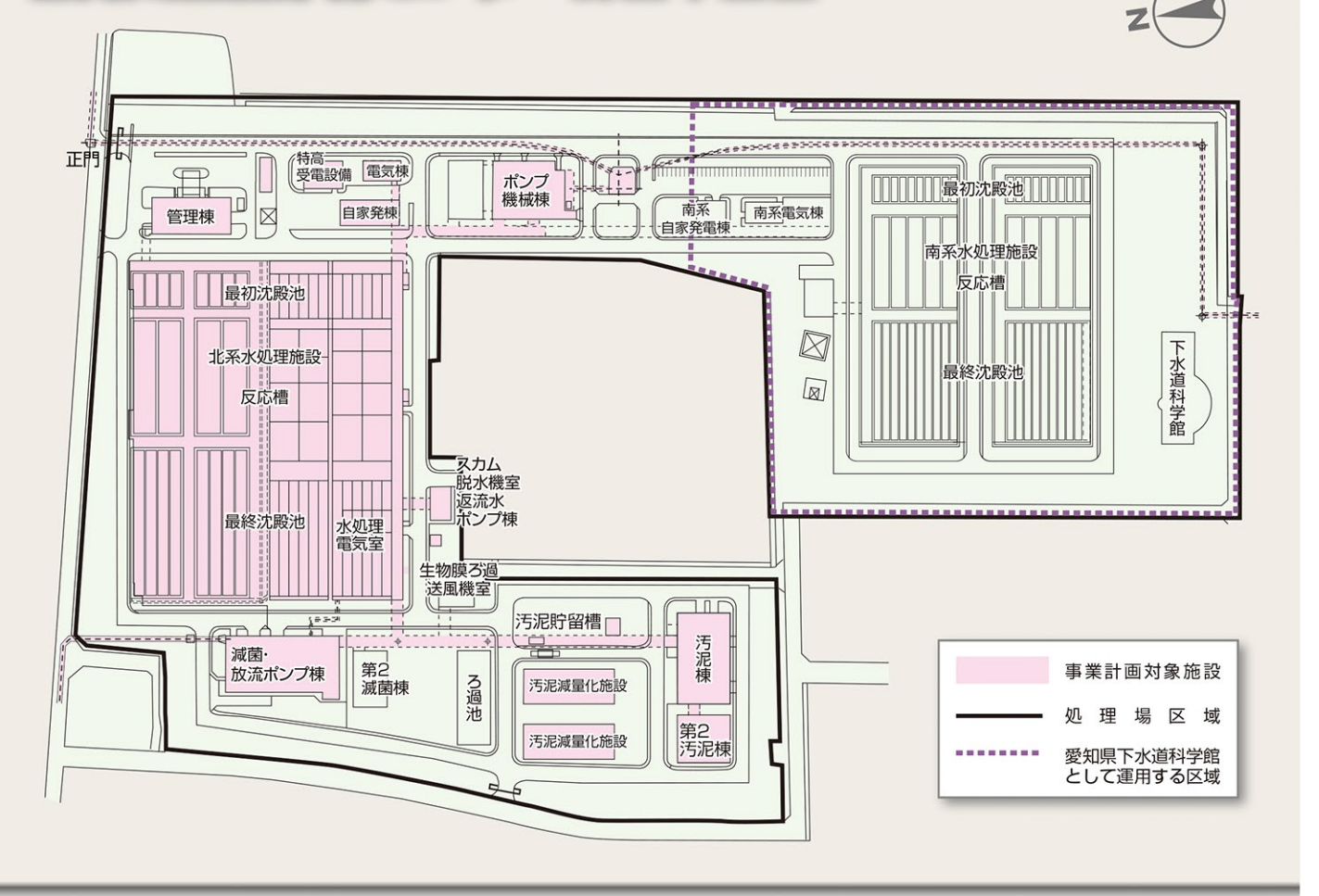


日光川上流流域下水道一般平面図




日光川上流浄化センター計画平面図



みそ汁を川に流した場合、魚が住めるようになるには約7,000倍にも薄めなくてはなりません。ほかにも、生活の中からはたくさんの汚れが毎日出されています。汚れた水を集めてきれいにするのが浄化センターの役割ですが、なるべく汚れを出さないことが大切です。

ひとりひとりが、食用油を捨てない、洗剤を使いすぎないなどの注意をすれば、水環境と下水道を守っていくことができるのですね。



みそ汁お椀一杯分約200ml (BOD約35,000mg/l)
●魚が住める水とはBODが5mg/l < 5lです。
※BOD：生物化学的酸素要求量

愛知県一宮建設事務所 都市施設整備課
〒491-0053
一宮市今伊勢町本神戸字立切1-4
TEL (0586) 72-1411 (代表)
FAX (0586) 72-1972
https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ichinomiya-kensetsu/
mail:ichinomiya-kensetsu@pref.aichi.lg.jp

日光川上流浄化センター
(公財)愛知水と緑の公社下水道部 尾張西部事業所
〒492-8349
稲沢市橋長1丁目1番地
TEL (0587) 36-8102 (代表)
TEL (0587) 36-8108
FAX (0587) 36-8108
mail:g-nj@aichi-mizutomidori.or.jp
http://aichi-mizutomidori.or.jp/hp_gesui/purification/nikko_up/

日光川上流流域下水道



愛知県 愛知 県
(公財) 愛知水と緑の公社

下水道の役割

下水道は私たちの生活や生産活動に伴って生じる汚水を、すみやかに排除し「生活環境を改善」するとともに、適切に処理したのち、海や川に放流し「公共用水域の水質を保全」する最も基本的な施設です。

また、雨水をすみやかに排除し都市を浸水から守る「浸水の防除」という重要な役割も担っています。

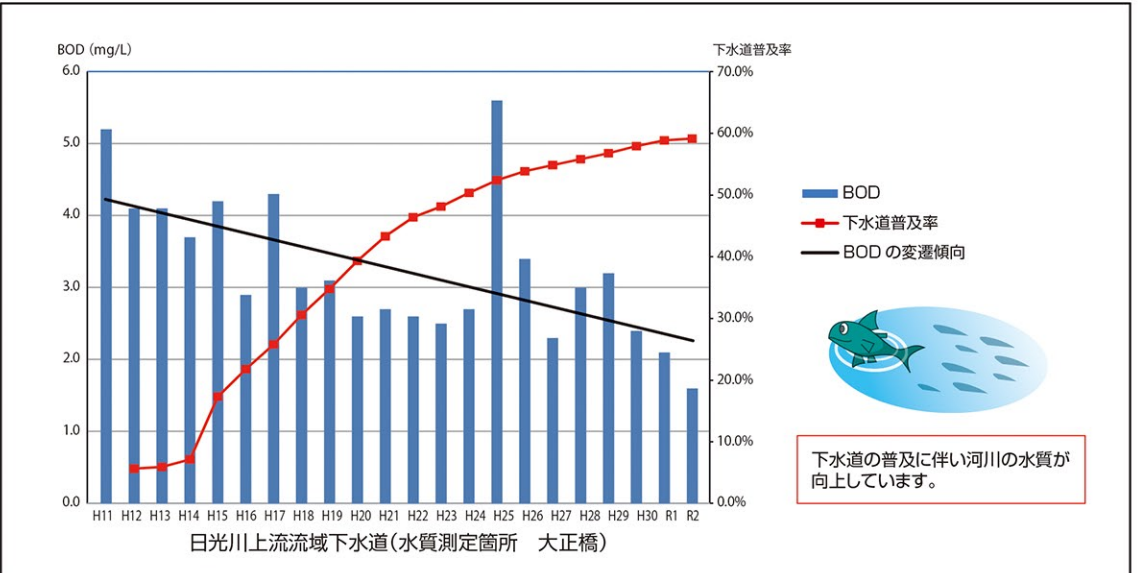
日光川上流流域下水道

この地域は、一宮市を中心として全国的な毛織物産地としての役割を担ってきました。現在では、広域高速交通網の結節点となっていることを背景に、物流拠点としての整備も進み、新しい産業も展開するなど、市街化が進んでおります。

こうした中、良好な生活環境の確保や川や海の水質保全を図るため、日光川上流流域下水道は一宮市、稲沢市を対象として平成元年度に都市計画決定され、その後、平成6年度に管渠と水処理施設の工事に着手し、平成12年度に稲沢市の一部区域を供用しています。平成16年度には一宮市においても供用を開始しました。

引き続き、計画区域の早期供用を目指して、関係市とともに事業を進めて参ります。

管理棟



【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平23部様、第100号)】